

五周年記念祭

理事長 田中 稔

今年の開園祭は、五周年記念といふことでいつもより行事色の強い会として開催いたしました。当日は天気予報がはずれて晴天に恵まれ、日頃の園生の頑張りに天が応えてくれたようです。職員一同で広い運動場に紅白幕を張り手作りの舞台まで作り祭りらしい雰囲気になりました。

皆様お忙しい中、遠くは長崎、宮崎、鹿児島から。県障害福祉課長様、大津町長様、日本自閉症協会長様をはじめ関係各位、保護者、地元森、陣内地区の方々、大津高校、フェリス女学院等のボランティアの方々総勢384名の参加がありました。自閉症という絶対数が少ない障害を特色とする施設とし



NO.59

H4.5.1

-発行-

〒869-12

熊本県菊池郡

大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

TEL096

293-8100

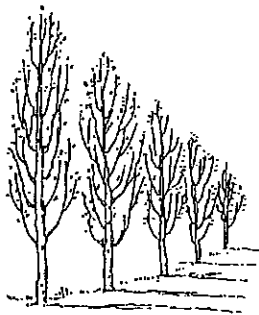
てはこの数字はありがたい事です。式には園生50名もきちんとイスに腰掛けて45分間ちゃんと参加しました。こういう状況に参加出来る程園生も成長してくれたという事です。式に園生を参加させた事について関係者の方々に、「良いことでした」という言葉をいただきました。

式後第一回から続いている地元の方々への参加による理事長杯ゲートボールが行われすっかり開園祭の行事の一つとして根付いています。他のプログラムは野点、コーヒー野点、丸太切り、くぎ打ち、オリエンテーリング、ボランティアの方々による演奏会、今年はそれ以外に保護者によるバザー、フラダンスまで飛び出しました。

会場の一角に、三気の里の移り

変わりを示す写真展がありました。私が初めてこの土地を見に来た時、この土地は神様がこの子達の為に残して頂いた土地だと思っただ、うっそうとした雑木におおわれた現地の最も古い写真もありました。

この数年で園の周りの田畑の様子、道路等も一変し、又園内も園生の頑張りで見違える様になりました。いろんな物が変わり成長していく中で、三気の里も自閉症中心施設として幼児から成人まで一貫した療育に対応できる受け皿として更に成長していきたいと思えます。



療育シリーズ

お母さん

園長 土井尚典

一月の父兄会の前の日、ある園生のお母さんが脳溢血で倒れられたと連絡がはいった。数日後お見

舞いに行った。集中治療室で昏睡状態のお母さんに面会して、ただならぬ状態であることを知った。

ご家族は、今後二人の障害者をしよっていくことになるかもしれないと想像すると、全快を念じながらも、鳥肌の立つ思いであった。お父さんの胸の内を想像すると何とかしなくてはと思うけど、出来ることしかできない。お父さんが看病に専念できるよう園生をしっかり療育することである。

毎週末帰宅していたが、今から出来なくなると思ってしまった。それでも兄弟の方々が協力しあって帰宅をさせていらっしやる。園でしっかりお世話しますからと言っても、お父さんも「私が頑張らな

いと……」とおっしゃって迎えに来られる。園生の状態を知る私達から推測すると、兄弟や兄弟の家族が受け入れられるような状態まで園生の成長を援助することが急がれる。

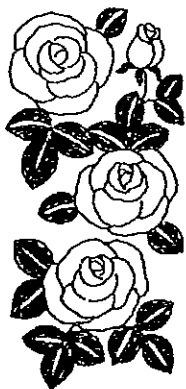
その後2カ月以上が過ぎた。お母さんは片言であれば会話が可能になり、Sくんの話になると「どうしてる？」と聞かれるほど回復された。車椅子にも乗れるようになられた。お父さんは、相変わらず「私が頑張らないと……」と、おっしゃって週末毎にSくんを迎えに来られる。このごろはSくんを迎えにきてSくんと一日過ごすのは「私の息抜きです」とおっしゃっている。

お父さんと付き合うようになってSくんは落ち着きも出てきて、男らしくなってきた。今までお母さん任せにしていたSくんの生活が、お父さんではそう甘くないのかもしれない。

どこの家庭でも自閉症のお子さ

んの生活の殆どがお母さんの肩にかかっている。炊事、洗濯、買い物など生活の総てが自閉症のお子さんを抜きにして考えられない。日常の生活総てに付きまどっている。理解あるお父さんでもあんまり当てにならない。そんな生活が続いて来ている。しかし、お母さんに、いったん事があると、お父さんは結構頼もしいものだ。家族も頼もしいものだ。

しかし、お母さんは家族の柱、いったん事があってからでは遅い。家族みんなでお母さんを考える事があってもいいのではないだろうか。一人一人がそれぞれお母さんの事を考えているかもしれないが言わないと分からない。週に一回一日お母さんをやってみるのも良いかもしれない。できるかな？



開園記念祭のお礼

事務長 末永博美

「三気の里」は、自閉症者を中心とする療育施設として、昭和62年5月1日に開園し、5年の歴史を刻み続けてきた。

私は、明日の天気が心配なせいか、前夜より眠れなかった。当日午前6時、天を見上げたたら晴れている。私は、笑顔で空に向かって「ありがとう」とつぶやいた。

今日は「三気の里」の5周年を記念する開園祭であるからだ。午前10時30分シュルシュルドカーンと大津町全域に爆竹の音が鳴り響いた。ただ今より社会福祉法人三気の会創立5周年・三気の里開園5周年を記念して開園祭が、大勢の方々が見守る中スタートし、各会場では、笑い声や頑張れの声援又拍手喝采の中、園生中心に繰り広げられた約2時間の開園祭は、無事に終了した。開園祭に、御出席頂きました皆様、会場で御協力頂きました皆様、又都合で御参加

出来なかった方々よりお祝いの言葉や祝電を頂きました。皆様に対し、心より御礼を申しあげます。

「三気の里」は、満5歳です。

園生の為に「のん気」「こん気」「元気」を合言葉に、又皆様のご指導とご協力を頂きながら、21世紀に向かって行きたいと存じます。

開園祭に参加して

平野良子

入所させて頂いて、初めての開園祭を心待ちにしていました。当日は晴天に恵まれ、よき開園祭日和となりました。式典の間、園生は静にできるのだろうかとの心配も取り越し苦労に終わり、5年間の療育の手ごたえを感じました。



まずはオリエンテリングに参加。いつも島原―三気の里と慌ただしく往復していましたが当日ばかりは可憐な野花を見ながら、親子でのんびりと散歩ができました。コーヒー野点では、雄一も正座して静かに待つことができましたし、丸太切りののこぎりも少し使えるようになっいて嬉しくなりました。お茶の野点では、まんじゅうを一口でペロリ、お抹茶も一気飲みで満足そうでした。入所して10ヵ月程しかたっていませんが子供の成長を実感できた催しに感激でした。ここまで準備をして下さった先生方ありがとうございます。楽しい一日を過ごさせて頂きました。



2班 Dreams Come True

僕ら2班は、龍也くんというカッコE友達を迎え、新しくスタートしたんだ。いつもうるさいだけの2班の職員に、どういう訳か変化があったようで、“今年はいろんな事に挑戦するんだ”とはりきっているみたいなんだ。僕らは「おまえらな～に考えとる」と思っているんだけどね。一度言い出したらきかないから…。そう、そんな訳で、4月のレクレーションは、初めて電車ってやつに乗ったんだ。あれって、どんな風に動くか知らなくてさ、僕なんか声もでなかった。他にはシートにしがみついているやつもいたけどね。着いた時にはホッとしたねえ～。行き先は動物園。ここも初めてなんだ。いろんな乗物や動物、おっかなかったぁ～。特に観覧車。今度10月には飛行機に乗るそうなんだけど大丈夫かな～。なんも考えてない職員に、まだまだこれからいろんなことさせられそうだけど、僕らもがんばらなくっちゃ！

清田



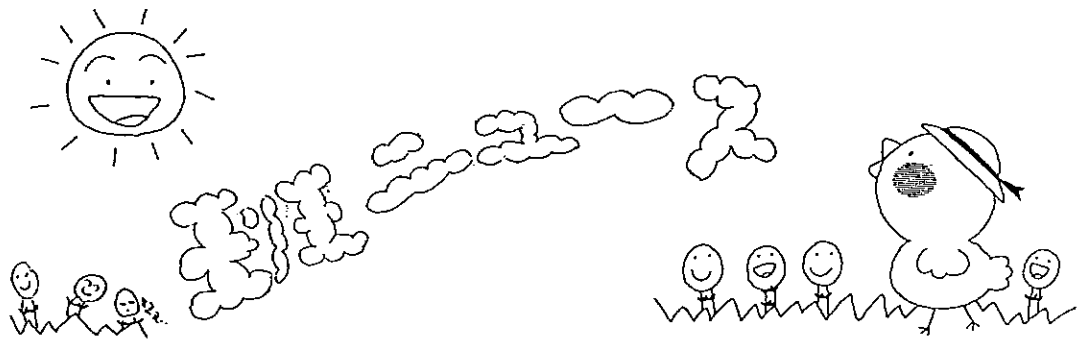
3班 土山

運動場の一角に、小高い山が出来つつあります。3班皆で木工室を広げる準備をしていて、掘った時に出土を運動場まで一輪車で運び込んでいるのです。一番手、稔君がやって来ました。黙々と一輪車を押して山頂まで運び上げ土を落として下ります。実に無駄のない動きです。二番手、ま一君が来ました。まだ山頂まで運び上げる事が出来ないの土山の側に土を落とします。その土を額に汗を一杯かきながら、せっせと山に向けて投げ入れてくれるのがてっちゃんです。暑い中よく続けて頑張ってくれています。次に順ちゃんがやって来ました。これが、つい最近まで一輪車を押すことも、あまりままならなかった人の動きでしょうか！見違える程に成長をしています。土山のすそより一寸上の方にいて『せ～の』と職員が声を掛けると自ら『ギュウー』という独特の擬音をつけて一歩一歩足を踏みしめ登っていくのです。本当にたくましくなりました。次にやって来たのが武ちゃん。高い所は苦手のはずだったのですが、誘われるままに登って来て上手に土を落としていきます。そして、一番の力持ちは、やはり新ちゃんです。ビューッと走って、ほとんど自力で山頂まで登り、土を捨てると、また全力で下っていきます。たのもしい限りです。

木工室の裏手では、マコちゃん、憲ちゃん、カズ君が大活躍です。スコップを使って巧に土を掘って一輪車に積んでいきます。…こうして、ひとつひとつ皆の力で工事が進められています。いつの日か運動場の土山は側に植えてある背の高いヒノキの木さえ越してしまうかもしれません…。そのころには立派な『New 木工室』が出来上がっていて、日焼けし、すっかりたくましくなった皆の笑顔に包まれている事でしょう。

坂本信

(7)



1 班 New Member の挑戦

4月になり、辰治さんと肇くんが退園し、寂しいなあと思っていると、2班から、とても強力な助っ人、路ちゃんと雄一くんがやってきました。他の園生も少し気になる様子…。そんな状況の中、2人は、ネット（リンゴを包むネット）折りの作業をすることになりました。雄一くんは、折ったネットを5つずつケースに詰めてあるものに輪ゴムをかけます。ネットの約3分の1の位置にかけるのがコツです。

さて、手先の器用な路ちゃん。何でも私達の真似をして、次から次へと色々な事をやってしまいます。今、挑戦をしている事はネットをきれいに袋詰めにすることです。本当に「仕上げ」という作業を行っています。日に日に上手になっていく路ちゃんを見て、「すごい、すごい。」と驚くばかりです。もちろん他の園生も負けてはいられないとばかりに頑張っています。まあ、たまには、おしゃべりもですが…。とにかく何事も挑戦あるのみ！！みんな、頑張ろうね。

津江

4 班 フィールド・オブ・ドリームス (中作業編)

三気の里のつつじの花もきれいに咲きそろい、日中は汗ばむ程となった今日この頃。4月の皆のトウモロコシの種まき風景を紹介したいと思います。

まずは、皆の足を使って、踏んで踏んでのうね作り。次に博ちゃん、潔君が種をまく穴を棒で開けていき、お腕に入れたトウモロコシの種を、武彦君、信ちゃん、富多三さん、宏幸君、由布子さんが3粒ずつ数えて穴の中に入れていきます。最後にパッパッと土をかぶせるのが、陽ちゃん、典君、光紀君。その上からジョーロで水まきをする創君、まーちゃん。

昨年、トウモロコシが一粒も口に入らなかった悔しさを職員は胸に秘め、今年こそはフィールド・オブ・ドリームスの映画で観たような、でっかいトウモロコシ畑を作ろうと夢んでいます。

夕方になると松島さんと緑恵ちゃんが歯科通院から帰って来ました。もうすぐ歯も入りパワーアップする2人を含め、超頑張る4班です。

三池

新入園生紹介

4月より三気の里の仲間に龍也くんが加わりました。にこにこ笑顔がステキな18才です。今は、砂野さんや厨房の岡田さんをかろうの熱中しています。皆さん、あいさつがとて上手ですので、答えてあげて下さい。よろしくお願ひします。



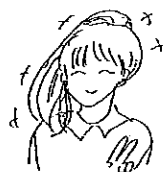
新人職員紹介

始めまして。今年3月に尚綱短大を卒業しました津江香です。まだまだわからないことばかりですが、この楽しい三気の里で「のん気・こん気・元気」で、頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

今春、短大を卒業し、栄養士として務めることになりました、高津美和です。まだまだ未熟者ですので、皆さんにはご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、私なりの努力で頑張っていきたいです。

……

この春、尚綱短大を卒業した前田はる美です。栄養士とは名ばかりの失敗の連続、厨房でご厄介となっております。おいしい献立・食事を作るのにはほど遠い未熟な私ですが、今後ともどうぞよろしくお願ひします。



ぼらんていあ通信

三月二十日に行われたV O学習会には、たくさんさんの参加ありがと

うございました。係としては、朝から小雨が降っていたし、「園内で木工かな？」と思っていたのですが、こんなに働き手のいる機会を逃しては：とやはり山に行こうということになりました。雨は止むこともなく降り続け、雨と土とでドロドロになりながらの作業。学習会というより“山作業会”になってしまいましたね。本当にお世話になりました。懲りずにまた、遊びに来てください。

ここに数人の方の声を、ボランティアノートより拾わせていただきます。

☆山に行くこともあまりないのに、丸太運びまでしちゃって、いつもじゃ体験できないことばかり。丸太なんて、そうさわれるものじゃないのでしっかりふれさせてもらいました。

☆私は今回が初めての施設訪問でした。少し緊張しましたが、皆と作業するにつれ、少しずつ話かけることができました。

坂本

ポランティア

ありがとう

- 石丸直美 (3班レク)
- 高田智香子 (4班レク)
- 坂本シマ子 源造マスマシ (散髪)
- 遠山一恵 (清掃)
- ☆V O 学習会・山作業
 - 仲田典之 宮村和美 佐田貴博
 - 喜悦 蓮 小野リカ 石丸直美
 - 柿本昌晃 清田郁雄ご夫妻
 - 末永義信 末永博久 竹内千景
 - 西坂紀彦 小坂陸美 益田よしみ
 - 藤原高一 米田親史 坂崎正勝
 - 宮本耕成 北岡真奨 永江和義
 - 安藤和代 宮地里花 田中 亮
 - 中島 博 齋藤智典
- ☆開園記念祭・一般
 - 森 隆子 中山美貴 永井ひろみ
 - 赤尾和則 山中香織 宮崎直子
 - 坂本孝子 宇野優子 山口浩一郎
 - 山室明美 小野リカ 古川 綾
 - 篠崎久五 一門恵子 コガ
 - 福本秀華 門下生
 - ☆オリエンテーリング
 - 泉 寿麿 大塚絵美 荒牧英里子
 - 加藤淳子 佐藤由香 大谷裕佳里
 - 嶋田嘉子 田代恵美 合志いづみ
 - 椿 玲子 西田理恵 山下白希子
 - 野田千秋 伊藤清人 山口亜矢子
 - 曾我香苗 佐藤憲誠 日置亜希子
 - 岩根一巳 砂野マリ

- ☆大津高校吹奏学部
 - 中山博人 古賀清貴 吉津慎太郎
 - 綾部康子 奥村珠紀 三池美智子
 - 菊地 誠 古家 康 高木康行
 - 武富弥生 田淵優子 石原優子
 - 草尾実幸 江邑亜希 小山美紀
 - 松岡友香 福山浩章 原口こづえ
 - 吉永和代 大塚弥生
 - ☆フニイス女学院高校の皆様

※敬称略

デンタル通信

歯なしにならない話・パート2

田上齒科医院長

前回、歯の根っこに膿がたまると他の臓器に障害を起こすことがあると書きましたが、これは根っこの毒素や細菌等が血液やリンパ液等により遠く離れた臓器に運ばれたり、アレルギー反応により引き起こされるもので歯性病巣感染と言います。例をあげると角膜炎、心内膜炎、腎炎、湿疹、関節炎等です。内科的な病気だと思ってい

ろいろな治療をしてもなおらなかった病気が、歯の治療でなおったということがあります。このように、

他の重要な臓器が病気になると、生命にかかわることもあるので、単に虫歯ぐらいと考えずに、早く治療することが大切です。

森隆子

開園5周年おめでとうございませす。私も色々な方のお見舞い、励ましなどありまして今回のポランティア活動をすることが出来、嬉しく思いました。学生さんだった方が今はそれぞれの職に就いていらっしゃるに拘わらず、園の開園祭のポランティア、「あの時の〇〇さんですネ」手に取らんばかりの喜び「又、今度は非会いましてうネ」の言葉を残して別れるすてきな出会い・仲間・魅力そしてパワーは三気の里の不思議な力なのでしようか。私も又ブラッシング指導を始めたいと思っています。皆さんよろしくお願い致します。追伸・田上先生、私に代わってのデンタル通信ありがとうございます。

5月の行事予定

1 (金) ゴールデンウィーク	17 (日)
2 (土) ↓	18 (月)
3 (日) ㊦ ↓	19 (火)
4 (月) ㊦ ↓	20 (水)
5 (火) ㊦ ↓	21 (木) 2班レク
6 (水) 体重測定	22 (金)
7 (木) 3班レク	23 (土) ㊦ 帰宅バス運行 シーツ交換
8 (金)	24 (日)
9 (土) シーツ交換	25 (月)
10 (日)	26 (火)
11 (月)	27 (水)
12 (火)	28 (木) 4班レク
13 (水)	29 (金) 大掃除
14 (木) 1班レク 誕生会	30 (土)
15 (金) 防災訓練	31 (日) 運動会
16 (土) 帰宅日 父兄会 療育相談日	

※今月の帰宅日・父兄会は、16日に変更になりました。

編集・「津江さん、たんぼぼ編集の係ね」。その言葉で私は社会の厳しさを後記・知りました。とにかく、頑張ります。(津江)編集の係りがついに文才のない私の頭上に…どんな物が出来るか、少々不安ですが楽しい物を作っていければと思います。(山中)

後援会入会

ありがとう

魚谷ミサヲ	上田康治	三井 喬	藤崎恵美	吉岡留美	田中慶秀	吉永二子	宮崎県青年会館	コロロE・Tセンター	上村才司	中田康則	田中照見	山室誠弥	笠 盛中	牛島房子	堤耕一郎	小篠武明	五島建夫	北島照明	藏元昭一
	江尻 清	尾田正幸	江島謙一	上田清秀	保田周一	宮崎恭一		赤坂政紀	勇 健三	林田純子	坂口耕一	山形健志	山形健志	四宮朝子	岡崎武治	吉岡誠治	松田雄二	高橋頌慈	清藤節子
	平川ヤエ子	中野美津子	山口 浩	松田敏子	川島末男	原田由美子	宮口純一	田中良憲	宮原富美子	伏貫直美	向井隆一郎	田中ノブエ	稲葉千代子	山内久己子	木本博明	小田久美子	東嶋敏子	樺嶋紀生子	

四月二十四日付け

※敬称略